

Prologue 交通安全について学ぼう！ 4
この本の登場人物 6

第1章 きほんの交通ルール 7

Episode 1 安全に道路を歩くには 8
道路はどこを通行すればいいの？ 10
Episode 2 自転車のきほんルール 14
自転車にはどんなルールがあるの？ 16
データで見えてみよう〜「自転車事故」編〜 18
Episode 3 自転車の正しい通行のしかた 20
自転車はどこを通行すればいいの？ 22
自転車が行き通れる場所はほかにもあるの？ 28
Episode 4 踏切をわたるときは 30
踏切って危ない場所なの？ 32
自転車が通行できない道ってどんな道？ 34
Episode 5 点滅している信号をわたろうとしたら 36
信号ってなんのためにあるの？ 38

第3章 安全運転をしよう 77

Episode 11 暗い道を通行するときは 78
暗い道はどうして危ないの？ 80
データで見えてみよう〜「時間帯」編〜 82
Episode 12 雨の日の運転に要注意！ 84
雨の日はなにに注意すればいいの？ 86
Episode 13 ヘルメットをかぶろう 90
ヘルメットってなんのためにかぶるの？ 92
データで見えてみよう〜「ヘルメット」編〜 94
自転車に乗るときもオシャレしていいの？ 96
Episode 14 疲れているときに自転車に乗ると 98
運転するときは体調も大切なの？ 100
危険行為をするとうなるの？ 104
Episode 15 スマホを見ながら運転すると 106
ながら運転はどうしてダメなの？ 108
妨害運転ってなんだらう？ 110
自転車でスピードを出してもいいの？ 112
自転車ってどれくらい荷物をつんでいいの？ 114

Episode 6 よく見よう！ 道路標識 42
道路標識ってどんなものがあるの？ 44
道路標示にはどんなものがあるの？ 48

第2章 交差点には危険がいっぱい!? 57

Episode 7 横断歩道をわたろう！ 50
安全に横断するにはどうしたらいいの？ 52
車の免許は何歳からとれるの？ 56
Column 56
Episode 8 安全に交差点をわたろう！ 58
交差点はどうやってわたったらいいの？ 60
Episode 9 信号機がない交差点をわたるときは 64
信号機がない交差点ではどうしたらいいの？ 66
データで見えてみよう〜「交差点事故」編〜 68
Episode 10 車の近くで座っていると 70
車からはどうやって見えているの？ 72
Column 役に立つ自転車グッズ！ 76

第4章 自転車のきほん 127

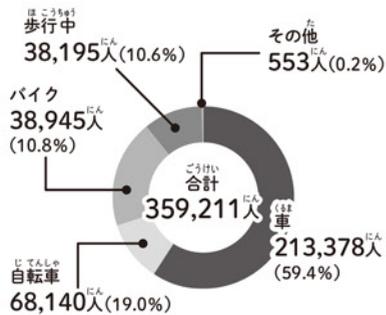
Episode 17 自転車について知ろう 128
普通自転車ってなんだらう？ 130
自転車はどうやってえらんだらいいの？ 132
自転車はどうやって乗るのが正しいの？ 134
自転車はこまめに点検しないとイケないの？ 136
タイヤがパンクしたらどうすればいいの？ 138

Episode 140
みんなのための交通安全 140

この本の内容や情報は、制作時点(2020年5月)のものであり、今後変更が生じる可能性があります。
本書で「自転車」と称しているものは「普通自転車」のことを指します。

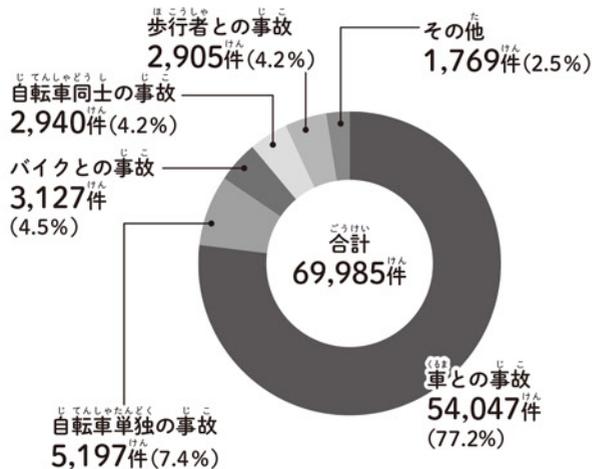
1年間で約36万人が事故に!?

1年間でなんと約36万人が交通事故にあっています。そのなかで、自転車に乗っているときの事故はどれくらいあるでしょうか？



交通事故の死傷者数(2022年)
出典:「令和4年中の交通事故の発生状況」(警察庁交通局)

車対自転車事故が多い!

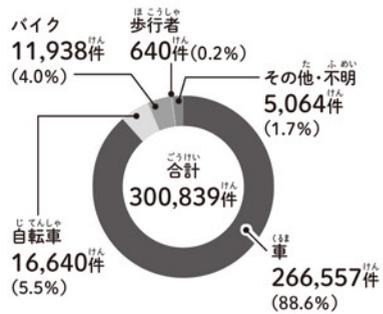


自転車事故の内訳(2022年)
出典:「令和4年中の交通事故の発生状況」(警察庁交通局)

2022年におきた自転車事故は、約7万件もありました。計算すると、1日に190件近くの事故がおきていたということになります。自転車事故がとも身近なものだということがよくわかりますね。自転車事故のなかでもとくに多いのが車との事故で、全体の約77%と、飛び抜けて多くなっています。

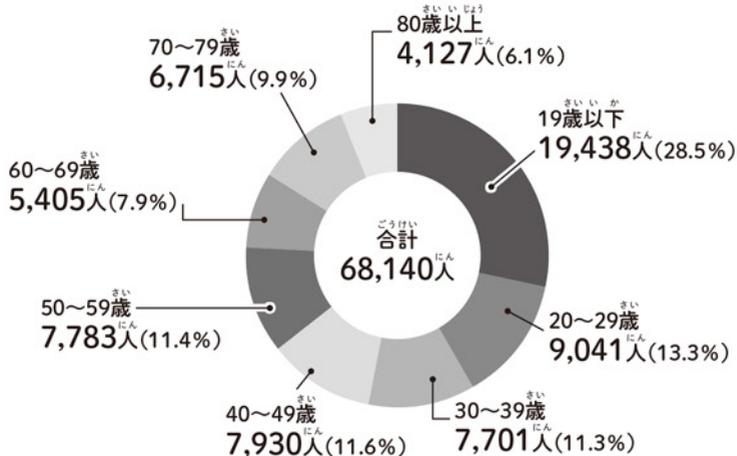
バイクよりも多い! 自転車の加害事故

左のグラフは、交通事故がおきたときに、交通ルールを守っていなかったなどの理由で責任が重いとされた人の内訳です。もっとも多いのは車ですが、2番目に多いのは自転車で、なんと自転車はバイクよりも多いことがわかります。



事故の第一当事者※の割合(2022年)
出典:「令和4年中の交通事故の発生状況」(警察庁交通局)
※交通事故をおこした人のなかで、いちばん過失が重い人や、過失が同じくらいの場合はケガの程度が軽い人などのこと

19歳以下が多い 自転車事故の死傷者は



年代別の自転車事故死傷者数(2022年)
出典:「令和4年中の交通事故の発生状況」(警察庁交通局)

上のグラフは事故でケガをしたり、命を落としてしまったりした人の数をあらわしています。そのなかでも、19歳以下が約30%と、もっとも多く、2番目には20~29歳の人が多いことがわかります。つまり、若い人のほうが自転車事故でケガをしたり命を落としたりしてしまうことが多いのです。せっかく楽しい自転車でも、ケガをしたり命を落としたらしてしまつては意味がありません。

ふみきり 踏切をわたるときは

